

留 学 報 告 書

記入日:2019年9月5日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部商学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: 英語
留学期間	2019年5月～2019年8月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年8月18日
明治大学卒業予定年	2021年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:9 月中旬～12 月下旬 2 学期:1 月中旬～5 月下旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	30853
創立年	1868

留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	円	備考
授業料	5788	636,680円	
宿舍費	4648	511,280円	
食費	1300	143,000円	
図書費	279	30,690円	
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	189	20,855円	形態:明大サポート
渡航旅費	1830	20,1330円	
雑費	760	83,600円	
その他	460	50,600円	旅行代
その他	200	22,000円	
その他		円	
合計	15,454	1,699,940円	

渡航関連

渡航経路: 成田空港～サンフランシスコ国際空港

渡航費用

チケットの種類 エコノミー

往路 _____

復路 _____

合計 201330

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

International House

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 1)

3)住居を探した方法:

オリエンテーション、パークレーのHP

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

さまざまな国からの留学生が滞在中にいて、イベントなども頻繁に行われていたため、交流する機会も多かったです。相談や質問ができるオフィスもあるためサポートは割と安心できると思います。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会がなかった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

利用しなかったが、大学や寮の相談室など相談できる環境ではありました。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

犯罪や危険に巻き込まれることはなかったが、外出時には貴重品を肌身離さず持って夜遅い時間ではあるかないなど、常に危機管理意識をもつことは必要だと思えます。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学や寮での WIFI 接続は基本的には安定していました。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本から換金して現金をもっていきました。現金とクレジットカードを併用していました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

何でも調達は可能ですが、電気ケトルとタコ足コンセントはあると便利だと思います。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

渡航前にクレジットカードで支払いました。

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
未定
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
11単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Marketing	マーケティング
科目設置学部・研究科	Haas of Business school
履修期間	Session A
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	Janet Brady
授業内容	Marketingの概要と基礎知識を講義で学びながら、それと並行して企業ごとのケーススタディを行っていました。学生を6人ずつ程度のグループに分け、各グループごとにそれぞれのケースの企業に関するプレゼンテーションが課されていました。
試験・課題など	課題は主にレポートで全部で3つほど提出しました。ケーススタディに関する質問に回答する形式でword2ページ程度でした。試験はFinalのみで、事前にshort answer形式が5問と、当日に複数の選択問題と正誤問題とテストがありました。
感想を自由記入	学生の授業への参加度が非常に高かったと思います。現地の学生だけでなく、留学生も積極的に発言していました。また、プレゼンテーションのレベルも高かったです。教授が素晴らしく、international studentにも深い理解を示してくれる方でした。そのため授業の雰囲気也非常に良かったと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Advertising Strategy		広告戦略	
科目設置学部・研究科	Haas of Business school		
履修期間	Session A		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が3回		
担当教授	Bill Fanning		
授業内容	広告やメディアに特化した授業内容でした。基本的には講義形式ですが、毎回の授業で教授が具体的にコマーシャルを流してその内容についてディスカッションする機会もありました。		
試験・課題など	テストは midterm と Final があり、どちらも複数の選択問題のマークシート形式でした。また、評価はテストに加えて、グループワークのプレゼンテーションが2回行われ、そのアウトラインの提出などが課題として課されました。		
感想を自由記入	毎回の授業でかなりの量のリーディング課題があり、予習の段階で2-30ページの論文や記事を読んで授業に臨んでいました。大変でしたが、授業内容は興味深かったです。また、グループワークがあるため、友人を作りやすい雰囲気だったと思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Stress and Coping		ストレス対処法	
科目設置学部・研究科	Psychology		
履修期間	Session D		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が2回		
担当教授	Andres Martinez		
授業内容	心理学的視点からストレスとの付き合い方やその対処法について学びました。		
試験・課題など	成績評価は2つのレポートと講義内容に関する midterm と final のマークシート形式のテストがありました。		
感想を自由記入	教授がとても優しい方で、心理学的視点からのストレスに対するマインドセットなど授業内容も大変興味深かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Business Speaking for Multilingual Students		ビジネス英語	
科目設置学部・研究科	College Writing Program		
履修期間	Session D		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が2回		
担当教授	Ron Martinez		
授業内容	会議や交渉、プレゼンテーションなど、さまざまなビジネスのシチュエーションを想定した少人数単位でのディスカッションがありました。		
試験・課題など	毎回の授業でビジネスに関するリーディングの課題が出されていました。成績評価はテストはなく、グループと個人の2回のプレゼンテーションがありました。		
感想を自由記入	教授がとても優しく英語も聞き取りやすかったです。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて、クラスメイトと英語を話す機会も多く、ビジネススピーキングに特化した授業でした。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験，期末試験，その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	TOEIC 試験勉強
10月～12月	TOEIC 受験
2019年 1月～3月	UCB summer session 出願・選考 3月授業料・寮費支払い、VISA 取得
4月～7月	5月末留学開始 6月中旬中間試験 7月上旬期末試験 7月中旬中間試験
8月～9月	8月中旬期末試験
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	私は、大学進学時から在学中に絶対に留学したいと考えていました。学生のころからともと英語が好きで、海外にも強い興味がありました。実際に海外で生活することや現地の大学でレベルの高い授業を受けることは、新しい発見もあり、日本とは異なる文化や価値観をもつさまざまな国の人々と交流する経験を通じて、自らを考え直す絶好の機会になると思い決断しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	海外の大学の授業についていけるだけの語学力を習得するには、まだまだ準備不足だったと思いました。授業ではネイティブの先生が話すスピードについていけるだけのリスニング力が求められますし、課題のリーディングの量が膨大なので、文章を全部読むのではなく要点になる箇所をまとめられるスキルと、スピードも必要だと感じました。
この留学先を選んだ理由	今回の留学先であるカリフォルニア大学バークレー校は、世界ランキングの上位に入るトップ校のひとつであり、現地の学生とともにレベルの高い講義を受けることができるというのは、これからの自分の大学生生活にとっても良い刺激になると感じました。それに加えて、バークレーで開講されている講義は、語学、社会科学、人類学、工学、生命科学など多岐にわたり、サマーセッションプログラムにおいても、自分の興味のある講義をさまざまな分野の中から選択して受けることができるというのはとても魅力的だと感じました。そのため、バークレーを留学先として選択しました。
大学・学生の雰囲気	日本の大学では教授が学生に向かって、授業時間すべて話し続けるという講義スタイルが一般的ですが、留学先の大学では教授が頻繁に質問を投げかけたり、ディスカッションする時間が与えられたりと学生の積極性や授業への参加度が非常に高かったと思います。
寮の雰囲気	寮ではさまざまな国からの留学生が滞在していて、気軽に参加できるイベントやプログラムも頻繁に行われていたため、異文化交流できる環境だったと思います。
交友関係	寮で行われるイベントで知り合ったり、同じ授業を受けていてグループワークなどをした学生と友人になることが多く、食事に行ったり出かけたりしました。
困ったこと、大変だったこと	食生活が大きく違っていたり、気候も昼と夜では気温差が大きかったりしたため、体調管理には気をつけるべきだと思いました。また、日本に比べ、アメリカは自由である反面、自ら行動しないと誰も自分の状況を確認などしてはくれません。これまではサポートが手厚い環境だったことに気づかされました。
学習内容・勉強について	私は商学系の授業をとっていたため、最初は授業のスピードや専門用語などに苦戦することもありましたが、周囲の友人と協力したり、教授に質問したりして、ついていけることができました。また、レベルの高い現地の学生たちの姿は自分も頑張ろうと思うモチベーションになっていたと思います。
課題・試験について	毎回の授業で膨大な量のリーディングが課されていました。授業の理解度に大きく影響するため、授業の予習と復習は必要不可欠でした。課題や試験勉強に計画的に前もって取り組むことや疑問点はクラスメイトや教授に質問して解決するなどの工夫をしていました。

大学外の活動について	大学外の活動に参加する余裕はあまりなかったのですが、キャンパスにあるジムに気分転換に行っていました。設備が整っており、いろいろなスポーツが楽しめますし、学生であれば自由に使えるのでおすすめです。
留学を志す人へ	今いる環境から慣れない環境へ飛び込むことは勇気のいることで、漠然と留学したいと考えていても、なかなか行動に移すことができないこともあると思います。しかし、留学を通じて得られる経験は大いにあったし、自ら行動して留学して本当に良かったと思います。機会を逃さずぜひチャレンジしてみてください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
	自習	自習	自習	自習	課題	外出	課題
午後	予習	予習	予習	予習	課題	外出	課題
	授業	授業	授業	授業	ジム	外出	課題
夕刻	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
夜	課題	課題	寮のイベント	課題	自由時間	自由時間	自由時間